

# 中村 蓉 Y O NAKAMURA

早稲田大学在学中にコンテンポラリーダンスを始める。ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典、国際芸術祭あいち2022などで作品を上演。これまでに、サンリオピューロランドのショー『Nakayoku Connect』やドイツ・マインフランケン劇場製作『ANATEVKA (屋根の上のヴァイオリン弾き)』などの振付を担当。東京二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『セルセ』『デイダミア』では演出・振付を担当するなど分野を超えて幅広く活動している。小説、戯曲、地域資源などを手がかりに、多彩な身体表現を生み出している。

ホームページ <https://yo-nnn.wixsite.com/yo-nakamura>

連絡先(担当) 中村蓉

※ダン活支援に関するお問い合わせは、  
上記HP内CONTACTよりお願いいたします

出身地 新潟県長岡市



Photo:金子愛帆

## Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

### ○活動歴

〈2014年〉イギリス・ウェールズNational Theatre Walesレジデンス企画にて映像作家Jorge Lizaldeとのプロジェクト「Cymru and I」を開始。2015年新潟県長岡市でも実施。

〈2017年〉青森県八戸市南郷文化ホール南郷アートプロジェクト「DANCE×JAZZ」にて地元のビッグバンドと共に『オールナイト南郷!』を上演。

〈2018年〉浦安音楽ホールにて市民参加作品「プランニュー浦安! ~心と体の夢の国~」を上演。浦安にまつわる楽曲も作曲家藪田翔一氏と創作。

〈2019年〉岩手県宮古市にて縄文文化を身体で学ぶ『縄文かもしれない体操』シリーズを製作。

〈2019年〉長野県上田市シティプロモーション動画『上田物語~中

村蓉と巡る、映画ロケ地とうたの大自然』を市民の皆さんと創作  
〈2020年〉都内民家よりオンライン公演『ジゼル特別30分版』を配信。  
〈2022年〉国際芸術祭「あいち2022」にて『ジゼル』上演。  
〈2023年〉北九州市芸術文化振興財団スタッフが踊る『財ダンス』振付とオリジナルソングの歌詞を担当。

### ○受賞歴

〈2012年〉ダンスコンテストNEXTREAM21審査員特別賞

〈2012年〉第1回セッションベスト賞

〈2013年〉横浜ダンスコレクションEX審査員賞シビウ国際演劇祭賞

〈2014年〉トーキョー×ソウルデュオダンスフェスティバル人気賞

〈2016年〉第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞

## Ⅱワークショップ歴Ⅱ

〈2018年〉ドイツフランクフルト市立シューレームリード高校1-3年生約20名に実施。主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会、後援：フランクフルト市

〈2022年〉神奈川県青少年ダンス講習会にて中学校ダンス部70名対象に実施。主催：神奈川県

〈2022年〉北九州芸術劇場にて財団職員対象に実施。主催：北九州市芸術文化振興財団

〈2023年〉都内小学3年~中学3年生13名と10日間で『愛なんだ2023』を創作し、なかのZERO小ホールにて発表。主催：芸術家と子どもたち

など

## 可能なワークショップ等のスタイル

### アウトリーチ

#### ①学校でのアウトリーチ

ロダン「考える人」やゴッホ「ひまわり」またはバナナやリンゴなど、有名な美術作品から身近な物まで、じっくり観察して全身で「なり切る」! 「変身する」! 体や気持ちは変幻自在であることを伝えます。アウトリーチの最後には、これまで行ったエクササイズを取り入れた振付を、現在流行っている歌や生徒さん達が知っている曲に合わせて踊り尽くします。これらの体験を通して、ダンスが身近にあること、ダンスは世界の切り取り方の一つなんだということをお伝えします。

#### ②幼稚園、保育園でのアウトリーチ

施設の特徴や周辺エリアを綿密にリサーチしてテーマソング(リサーチをもとに歌詞を創作)とオ

リジナルダンス創作し、職員の皆さまと踊ります。施設内で踊り、ミュージックビデオの製作もチャレンジします。実施例：岩手県宮古市【崎山貝塚縄文の森ミュージアムで踊る!】縄文かもしれない体操~不思議な職員篇~

あらゆる対象のアウトリーチに、その場所の個性を活かして対応したいと考えています。

### 公募ワークショップ

#### ①「歌謡曲スイッチ」

ちあきなおみ「喝采」や八代亜紀「雨の慕情」など歌謡曲の歌詞に登場する人物になり切って踊ります。歌詞が振付を思い出すヒントになるのでダンス経験がない方も取り組みやすいワークショップです。

#### ②「ご当地スターにちなんだダンス」

その土地出身の歌手の楽曲や特徴をワークショップに取り入れます。

島根県での実施例：渡哲也が出演する宝酒造CM「松竹梅」のリズムに合わせて踊る。Official髭男dism「Pretender」「Subtitle」で踊る。

これらのワークショップ内容を、対象者のダンス経験や年齢、目的に合わせて組み合わせる進め方をいたします。

## この事業で可能な公演スタイル

### レポートリー作品

#### ①『花の名前』

向田邦子の著作短編『花の名前』の朗読に合わせ、身体と言葉の関係を遊び尽くす作品です。

▶上演時間：60分 ▶出演者数：ダンサー 2名、歌手1名、演奏1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶必要機材：ピアノ1台(無い場合も対応を考えられます。)

#### ②『ジゼル』

バレエの演目『ジゼル』を題材に創作。ヴァージニ

ア・ウルフの言葉を用いながらジゼルの心情を読み解く作品です。

▶上演時間：60分 ▶出演者数：1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶必要機材：プロジェクター

### 市民参加作品

#### ①『オリジナル作品』

参加者の方々に「この街で一番大切な場所」と「そこの思い出」を伺います。その答えや、上演する土地の文化(歴史・建物・出身の作家が書いた作品)

を混在させてノンフィクション・フィクションを織り交ぜた作品を創ります。

▶上演時間：20 ~ 60分 ▶出演者数：2名(登録アーティスト+アシスタント) ▶市民参加の形態：作品に出演・エピソードの提供・作中の映像に出演 ▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数：3~20名程度 6~10回程度